

第 69 回接続料の算定等に関する研究会の議論を踏まえた

KDDI 株式会社への追加質問及び回答

(5G (SA方式) 時代におけるネットワーク提供に係る課題の検討関係)

※赤枠は構成員限り

問 1 MNO各社の説明資料において、国際ローミング標準化がこの春に完了するであろうことが示されているが、標準化完了後は事業者間協議が大きく前進し、協議の進展が早まることが期待できるという理解で良いか。

(佐藤構成員)

(KDDI 回答)

- 国際標準化が完了すれば、ベンダーにおける実装機能や開発・リリースロードマップが明らかとなってくると想定されるため、提供にあたっての大枠のスケジュール感や概算費用の提示などが可能になると考えます。

問 2 一般社団法人テレコムサービス協会MVNO委員会説明資料(議題3 関係) P.6 で、網改造料の情報が提供されず、サービス開始が遅れる可能性が示されている。網改造料に関する情報は、今後、どのようなスケジュールで開示される予定か示してください。現時点で示すことができない場合は、できない理由とどのような条件が整うことで時期を示すことができると考えられるかお示してください。

(佐藤構成員)

(KDDI 回答)

- 費用の提示に関するスケジュールとしましては、MVNO の要望内容について明確化するための協議を重ねたうえで、標準策定完了後に各ベンダーに対して RFP を実施し、導入するベンダーや装置が確定したのちに提示可能となると考えます。一般論として標準仕様策定完了後、RFP 実施～MVNO への見積提示までは、最低でも半年程度の時間を要するものと考えます。

問3 株式会社NTTドコモ説明資料 P.2における2nd Stepが、貴社において現在どのような時間軸で進んでいるのか、2nd Stepを幾つかに分けて（NTTドコモは5つ）お示しください。

（佐藤構成員）

（KDDI回答）

- 一般的には、以下のプロセスにて協議を進めていくものと考えます。（接続料の算定等に関する研究会（第49回）当社プレゼン資料より抜粋）

実績を踏まえた期間の目安	標準的なプロセス	情報提示・手続き
約1ヶ月	[1]守秘義務契約締結及び事前確認	標準プラン
0~12ヶ月程度	[2]各種条件等について協議	個別要望に応じた提供条件、開発内容概算費用、開発期間を提示
	[3]条件合意	
1~12ヶ月程度	[4]協議内容に応じた正式申込	正式申込 （工事発注のための手続き）
	[5]開発、工事、試験等	
	[6]契約締結	卸契約締結
	[7]提供開始	

- 個別要望における協議に関しましては、MVNOによるサービス提供イメージや当該サービス実現に必要な機能、当社網構成を踏まえて想定される接続構成、当社網との接続にあたっての課題事項を相互に確認し合い、対応可否や対応できない場合の代替案等の検討を行い、実現にあたって必要となる機能や開発内容を確定していくものと考えます。
- その間、MVNOからの要望に応じて概算費用の提示を行い、費用の規模感等も踏まえて実現にあたって必要となる機能や開発内容について検討を重ねていくものと考えます。



問4 株式会社NTTドコモ説明資料P.2における3rd Stepが、貴社において今後どのような時間軸で進むことが期待できるのか、NTTドコモが2nd Stepを5つに分けたように、3rd Stepを幾つかに分けて具体的にお示してください。

(佐藤構成員)

(KDDI回答)

- 問3の回答のとおり、弊社とMVNO双方で費用算出も含めて課題を共有し、実現にあたって必要となる機能や開発内容を確定していくものと考えます。